

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-4-5  
環境保全の推進

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 廃棄物対策課長 長田 茂男 電話番号 0852-22-6173

事務事業の名称	公共関与産業廃棄物最終処分場確保対策事業	
目的	(1) 対象	産業廃棄物を排出する県内の事業者
	(2) 意図	適正に処理されるように産業廃棄物の処分先を確保する
事業概要	・(公財)島根県環境管理センター(以下「センター」という。)の経営安定化を図り、地域産業の育成に必要な最終処分場を確保するため、センターが平成14年度に供用開始した第1期処分場整備に係る借入償還金に対して支援を行う。	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	管理型最終処分場の残余年数	目標値	15.0	14.0	13.0	12.0	年
	式・定義	残余年数	取組目標値					
			実績値	1.0	15.0	11.0		
			達成率	-	100.0	78.6	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	158,800	158,800
うち一般財源(千円)	158,800	158,800

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

・センターが平成14年度に供用開始した「クリーンパークいずも」は、県内で唯一の公共関与による産業廃棄物処分場であり、広く県内事業者にご利用され、本県の産業振興にとって不可欠な施設となっている。  
 ・管理型最終処分場となる第3期処分場は平成28年12月に竣工し、平成29年3月から供用を開始している。  
 ・第3期処分場造成に係る償還財源を確保するため、センターは平成29年4月より料金改定を実施した。

## 6. 成果があったこと(改善されたこと)

・第3期処分場は当初計画より搬入実績が多い状況であり、平成29年度は事業収益が増加した。  
 ・事業収益の増加により、中長期的な資金需要や施設機能改善に備える基金(準備金)が創設でき、経営健全化の推進を図ることができた。

## 7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

### ①困っている「状況」

・第3期処分場への搬入実績が当初計画より多い状況が続いており、埋立可能な残余年数が当初計画の15年から短縮となる可能性が生じている。  
 ・搬入量の予測が立てにくく、中期的な財政計画の見込みが難しい。

### ②困っている状況が発生している「原因」

・搬入量の多寡は公共事業や景気動向の影響を受けるため、見込みを立てることが難しい。

### ③原因を解消するための「課題」

・近年、搬入実績の増加や料金改定により経営状況は改善されているが、定期的な運営状況の確認を行いながら、料金改定や経営健全化対策を進める必要がある。  
 ・毎年度の収支見通しと実績の検証を行い、中・長期的な経営目標を立て、安定的な経営を継続する必要がある。  
 ・中・長期的な資金需要に備えた積立基金も確保したところであり、第3期処分場の計画的な埋立利用を維持していく必要がある。

## 8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

・適正な施設整備・運営を実施していくため、引き続きセンターに対し、管理・運営等について指導を行う。  
 ・第3期処分場の埋立状況を注視しながら、センターが安定的な運営を維持できるよう、今後も計画どおり第1期処分場の建設に要した借入金の償還金に対し支援を行う。